

他機関との連携による取組み【長野清泉女学院高等学校】

社会福祉部10名の活動として、マラウイのコーヒーを通じて国際的な支援事業について理解を深める学習を実施。このコーヒーから得られる収益は全額マラウイの子どもたちの給食費となる。マラウイの現状を学びつつ、今後コーヒーを広く知ってもらう取組みを進めている。2020（令和2）年12月から2021（令和3）年6月にかけて4回にわたって、日本でコーヒーを取り扱っているNPO団体やその現地関連団体とオンラインビデオ会議ツールを用いて、学習と交流の機会を設ける。

【プログラムの内容】

- ・ NPO団体せいぼじやぱんの職員とのオンライン勉強会（2020年12月開始）
 - 1回目、マラウイの現状や日本との関係、また現地での給食支援活動について。2回目、マラウイにおけるコーヒー豆の生産過程や味の特徴について。
- ・ 自校教職員への周知活動（2021年2月）
 - 勉強会で学んだことをまとめて、教職員にそのプリントとマラウイのドリップ式コーヒーをプレゼントする。
 - 【今後の予定】（2021年5月～7月）
- ・ オンライン勉強会 3回目
 - （コーヒー豆の生産の現場で働いている方々の労働環境や仕事に対する考え方について）
- ・ オンライン交流
 - （マラウイの方々とオンラインで触れ合い、マラウイの文化について知る。）
- ・ 文化祭での周知活動
 - （来校者にコーヒーを販売。学習成果を展示。多くの方々にマラウイのコーヒーを知ってもらう機会とする。）

【工夫した点】

- ・ 国際交流でありながら奉仕活動であり、マラウイの子どもたちの支援を目的とすることを意識した。
- ・ 生徒たちが学習しながらコーヒーに愛着を持ち、この事業に賛同してもらえる人を増やす活動となるように心がけた。

【今後の課題】

- ・ 今回の一連のオンライン交流プログラムの後も、継続的にマラウイと関わりながら、人を介する形でコーヒーと給食支援事業の認知を広め、社会福祉活動を続けられるようにする。

【経緯】

2020年6月～11月	新型コロナウイルス感染症の影響により、校外でのボランティア活動が中止。
2020年12月～	オンラインによる交流開始



オンライン勉強会の様子



オンライン勉強会の講師とマラウイコーヒー